

～気象変動に負けない稲づくりで

1 等級比率90%以上(高品質米)をめざそう～

【本田初中期管理のポイント】

1. 基 肥

- ・高品質・良食味米生産のため、土壌条件にあった施肥量で適正な生育量を確保しましょう。
- ・基肥は水稻の過剰生育をさせない程度に調整し、例年葉色が濃く推移し穂肥が2回施用できないほ場(高地力地域)や前年倒伏が大きかったほ場は、**基肥窒素量を2割程度減肥し(特にコシヒカリは、基肥量2.0～2.5kg/10aが目安)、基肥一発肥料を使用している場合は、慣行の窒素施肥量(基肥+穂肥)より1～2割程度減肥して施用しましょう。**

《3割以上低減栽培に取り組みましょう!》

2. 田 植 え

- ・出穂期～登熟期の高温障害のリスク(早すぎる出穂)を回避するため、**適温で登熟する出穂期を迎えるためにも、連休後半の5月5日以降(目標は5月10日以降)に移植しましょう。**
- ・**※極端な早植え(4月下旬)は厳禁。**
- ・田植えは好天の日に移植しましょう。(特にプール育苗は植傷みしやすいので注意する。)
- ・栽植密度は50～60株植を基本とし、1株当たりの植込み本数は3～4本植として多苗(過繁茂、細莖化)を避けましょう。(10a使用箱数の目安...18箱/60株、15箱/50株)
- ・補植は、基本的には行わず連続欠株とまくら地程度にすませましょう。また、終わりのしい補植苗は直ちに撤去しましょう。

3. 初期の水管理

- ・田植後活着するまでは3～4cmのやや深水とし、保温的水管理により低温や強風による植傷みを回避しましょう。(初期生育の遅れやすい有機基肥一発肥料を使用する場合は重要。)
- ・活着後は2～3cmの浅水として水温の上昇を図り分けつの発生を促し、良質茎の早期確保に努めましょう。
- ・春雑草生すき込み等によりワキの発生が多いほ場については、夜干し・水の更新等の対策を取りましょう。(田面の土が十分乾燥しない条件で耕起した場合は特に注意が必要。)

4. 除 草 体 系

※除草体系は裏面に記載しております。

5. 溝切り・中干し

- ・**目標茎数の7～8割を確保で直ちに落水し、梅雨入りする前から中干しを開始しましょう。**
- ・中干しの終了時期が遅れると、根域が縮小し、高温年では品質が低下する場合がありますので、**出穂の1ヶ月前までに中干しを終了しましょう。**
- ・梅雨時期に中干しを効果的に行うには、溝切りは必須の技術です。
 - 溝切り間隔 8～10条に1本、末端を排水路に接続
 - 溝の深さ 10cm以上を確保
 - 中干し時期 地力の高いほ場では、目標の穂数の70%(㎡当たり 270本)、砂質土壌では80%(㎡当たり 300本)を確保したとき(6月5日～10日頃)
 - 中干しの目安 小ヒビが入る程度
- ・カドミウム対策(湛水管理)を徹底するためにも適期中干しをしっかりと行いましょう。

中干し溝切りの効果

- ① 無効茎の発生抑制による適正生育量の確保
- ② 下位節間の伸長抑制による倒伏軽減
- ③ 土壌への酸素供給による根の健全化
- ④ 収穫時の機械作業が可能な地耐力の確保
- ⑤ フェーン等の緊急時の迅速な灌水
- ⑥ 秋の長雨による停滞水の容易な排水

㎡当たり茎数早見表

田植機 株ネット	1株の平均茎数					
	15本	16本	17本	18本	19本	20本
50株	227	242	258	273	288	303
60株	273	291	309	327	345	364

白抜き数字が中干し開始目標茎数

6. 病虫害防除

・カメムシ類 「3・2・1・0」運動の実施

3週間おきに2回の一斉草刈りで、出穂後1回の地域一斉防除を徹底し、**斑点米0(ゼロ)を目指しましょう!**

※田植後、農道畦畔のこまめな草刈りを実施しましょう。


★みどりの畦畔づくり運動推進中★

農村環境の保全や農作物への除草剤飛散を未然に防ぐためにも、農道畦畔の除草はなるべく除草剤を使わず草刈り機等で行おう!

・育苗箱施用剤の種類と対象病虫害

区 分	薬 剤 名 (※○数字は農薬成分回数)	対 象 病 害 虫						
		葉 いもち	紋枯病	カメムシ 類	イネト オムシ	イネミズ ゾウムシ	ニカメイ チュウ	ウカ 類
殺虫剤	①フェルテラ箱粒剤				○	○	○	
	①ワンリード箱粒剤				○	○		○
	①パダン粒剤 4				○			
殺菌・ 殺虫剤	②Dr.オリセ°フリンソ粒剤 6	○			○	○	○	○
	②アミスター°フリンソ粒剤	○	○		○	○	○	○
	②フリンソリンハ°箱粒剤		○		○	○	○	○
	②デジタルメカ°フレア箱粒剤	○		○	○	○	○	○

- ・同一箱施用剤を連用している場合には使用薬剤の変更を行いましょう。
- ・薬剤の施用量が不足していると十分な効果が得られませんので、各薬剤の施用量、使用時期を厳守して下さい。(※近年、田植後活着してから本田で病虫害等の発生が見受けられます。箱処理剤を使用して病虫害対策に努めましょう。)
- ・育苗後のハウス内で野菜等の栽培を予定している場合は、移植前の箱処理剤使用についてはハウス内での使用(散布)は避けましょう。(※水稻箱処理剤の使用成分は、野菜等の作物に使用登録が無いことから、ハウス内で散布した場合に残留農薬として検出される場合があります。) また、田植終了後に空いた育苗箱を再度、野菜苗等の育苗で使用する場合についても同様に箱処理剤を使ったものについては使用を避けて下さい。




お願い!

春耕期になると道路に泥や土塊が散乱しているとの苦情が毎年数件寄せられています。

作業が終了したら…

タイヤ及びクローラの土をしっかりと落としてから公道に出ましょう!



【新発田地域水稻生育速報メールマガジン登録者募集中!】

稲作の生育状況と管理情報・緊急情報などをあなたのパソコンや携帯電話に即時にお届けします!あなたも登録してみませんか?(登録は一度きりでOK。無料です)

【登録方法(メールのみの受付です)】下記のアドレスに、必要事項を記入のうえ、メール送信してください。

宛先: shibatamai.info@pref.niigata.lg.jp

件名: 水稻生育速報メルマガ希望(必ずこのタイトルでお願いします)

除草剤の散布体系（例）

（※○数字…農薬成分回数）

		-7	田植	+5	+10	+15	+20	+25	+30
【一発除草剤】 水持ちの良い水田 一年生雑草から多年生雑草まで効く				②ヤイバ ジャンボ・豆つぶ 250g ②ヤイバ 1キロ粒剤 ③バッチリ 1キロ粒剤・7077 [®] ル ④ダイナマンD 1キロ粒剤・7077 [®] ル ②ピクトリーZ 1キロ粒剤		②エーワン → 1キロ粒剤・7077 [®] ル・ジャンボ ②ゲットスター → 1キロ粒剤・7077 [®] ル・ジャンボ			
【初期剤 + 一発剤】 水持ちの悪い水田 多年生雑草の多い水田 前年一発剤のみで多発生したほ場	※注 ①ソルネット 1キロ粒剤 ①ベクサー 1キロ粒剤・7077 [®] ル ①ピラロン 1キロ粒剤・7077 [®] ル ①エリジャン乳剤		①ソルネット 1キロ粒剤 ①ベクサー 1キロ粒剤・7077 [®] ル ①ピラロン 1キロ粒剤・7077 [®] ル ①エリジャン乳剤 ②ショキニー7077 [®] ル			②エーワン → 1キロ粒剤・7077 [®] ル・ジャンボ ②ゲットスター → 1キロ粒剤・7077 [®] ル・ジャンボ	②ヤイバ 1キロ粒剤・ジャンボ・豆つぶ 250g ②ピクトリーZ 1キロ粒剤・7077 [®] ル・ジャンボ ③バッチリ 1キロ粒剤・7077 [®] ル・ジャンボ ④ダイナマンD 1キロ粒剤・7077 [®] ル		
【初期剤 + 中期剤】 広葉・高葉等の雑草が多発生するほ場は体系処理で対応	※注 ①ソルネット 1キロ粒剤 ①ベクサー 1キロ粒剤・7077 [®] ル ①ピラロン 1キロ粒剤・7077 [®] ル ①エリジャン乳剤		①ソルネット 1キロ粒剤 ①ベクサー 1キロ粒剤・7077 [®] ル ①ピラロン 1キロ粒剤・7077 [®] ル ①エリジャン乳剤 ②ショキニー7077 [®] ル			④ハイカット 1キロ粒剤（※ただし、イネ4葉期以降～） ③ナイスミドル 1キロ粒剤（※ただし、イネ4葉期以降～）			

※注…移植前の除草剤使用は、代掻きから移植までの期間が極端に長い場合のみ、田植7日前まで行うようにしましょう。

<農薬使用上の注意事項>

農薬使用前には農薬容器や包装ラベルに記載された「適用作物」「使用量・濃度」「使用時期」「使用回数」と「使用方法」に注意し再度確認を行い、農薬使用者は責任を持って適正に使用してください。なお、ラベル等の登録内容は変更もあり得ますのでご留意してください。

● たっぷりの水で散布し、処理後は落水・掛け流しをしない

薬剤処理前にはネズミ穴などないように畦畔を補修し、水尻もしっかり止め、たっぷりの水深（4～6cm）を保って散布します。湿水を維持しながら田面水を外に出さないような水管理を行って下さい。また散布後は7日間は止水し、落水・かけ流しを避けて下さい。処理層をきっちり形成し、雑草に薬剤成分を上手く吸収させる為です。

